



校長室だより No. 26 令和4年2月1日

協 和

足利市立協和中学校長 中村 徳 幸

※右上のQRコードから「協和中学校ホームページ」をご覧ください。



学校評価アンケートについて(お知らせ)

残寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動への温かなご支援とご協力に感謝申し上げます。

さて、昨年12月、インターネットによる「学校評価アンケート」を実施させていただきました。多くの皆様にご協力いただきありがとうございました。今年度のアンケート結果と昨年度の結果と比較しながらまとめさせていただきましたので皆様にお知らせいたします。

皆様からのご回答を大切にしながら、今年度の反省と来年度に向けた計画作成を行っていきたくと考えております。

【 学校評価の実施方法 】

- (1) 実施時期：令和3年12月
- (2) 調査対象：協和中生とその保護者
- (3) 評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う
- (4) 評価方法：各項目について4段階で評価を行う

4：よくあてはまる、3：ややあてはまる、2：あまりあてはまらない、1：あてはまらない

※ 肯定率とは、全体の人数に対する4、3の評価者の割合をパーセントで表したものです。

評 価 内 容 と 努 力 点	対 象	肯定率 (%) ※	
		令和3年度	令和2年度
1. 校長室だより・学年だより・各種たより、学校ホームページ・一斉メール配信等による積極的な周知 保護者の皆様、地域の皆様をはじめ、学校を支えていただいている方々への情報発信、教育活動についての共通理解に努め、中学校区の目指す子ども像『自ら進んで学び 思いやりにあふれ たくましく生きる子』の育成に向けて、家庭・地域と連携します。	生徒	78.8	67.1
	保護者	97.1	93.7
2. 子どもの努力を認め、励ます等、きめ細かな対応 生徒一人一人の個性や背景を踏まえ、寄り添いながら、生徒の努力による変容を把握し、本人の思いや願いにつなげていきたいと思えます。努力を認め、励ますことで、自己有用感(誰かに認められる、必要とされている)が育まれます。学校でのお子さんの様子をご家庭にお伝えしていきます。	生徒	89.6	80.1
	保護者	93.0	90.6
3. 不安や悩み等に対する丁寧な相談や対応 子どもたちは、思春期、反抗期にあたり、不安定な時期を迎えていますので、まずは寄り添い、話をじっくり聴くことから不安や悩みを把握し、励ましながらかつ一つの困難を乗り越えさせていきたいと考えています。学級担任、生徒指導主事、養護教諭、教育相談担当、スクールカウンセラー等が連携しながら対応しています。	生徒	89.8	79.2
	保護者	91.1	86.7
4. 分かりやすい授業の展開 授業のねらいの達成や振り返り等、1時間の授業を大切にしています。分かる授業に努めるとともに、生徒同士の『学び合い』による学習意欲の向上、学力の定着を目指します。更に、『1人1台タブレット端末』を活用した授業を積極的に取り入れることで、個別最適な学びを目指します。これらの授業を進める中で、子どもたちから「わかった、できた」の声がたくさん聞こえるようになりました。	生徒	96.3	88.1
	保護者	71.8	67.3

評価内容と努力点	対象	令和3年度	令和2年度
5. 家庭学習の充実 家庭学習については昨年度までの本校の大きな課題でしたが、今年度は ①自己学習力を身に付ける学習法の推奨、②1人1台タブレット端末への『タブレットドリル』の導入等、様々な工夫をしました。これにより、自主的・計画的に家庭学習を行おうとする態度が身に付きつつあります。更に、2学年2学期末からは、『受験対策』もスタートしています。	生徒	62.6	46.7
	保護者	58.2	47.2
6. あいさつの励行 大きな声であいさつをすると気持ちが良くなり、お互いに笑顔になることができます。相手からの印象が良くなり、人間関係も良好になります。生徒会では『あいさつ運動』を進め、笑顔あふれる居心地のよい学校を目指しています。	生徒	91.0	80.0
	保護者	87.1	78.6
7. 学校におけるルール・マナーの遵守 ルールやマナーを守る前提として、相手に対する思いやりが必要です。本校では、『A・S・N』（愛される先輩になろう！）を合言葉に、学校行事、生徒会活動、部活動等の異年齢集団による活動を積極的に行い、相手を「思いやる心」を育てようと努力しています。さらに、生徒指導の重点目標として「時を守り 場を清め 礼を尽くす」を掲げ、基本的生活習慣の確立を目指します。	生徒	95.6	93.1
	保護者	95.3	93.6
8. 時と場に応じた適切な言葉遣い 言葉は、自分の気持ちや考え、感情を相手に伝え、人との関わりを深めることのできるコミュニケーションで大切なものです。大人になるということは、人と人との付き合いがきちんとできることであり、そのとき大切になるのが言葉遣いであるということをしっかり指導していきたいと思えます。	生徒	91.4	87.0
	保護者	82.2	76.3
9. 学校・学年行事への積極的な参加 学校・学年行事への取り組みは、『KYOWA+』（みんなで心を合わせ、『プラス思考』で前向きに頑張っていこう！）の考えのもと、望ましい人間関係をつくるコミュニケーションの場となることに意義があります。行事をとおして、協調性や帰属意識、充実感、達成感などが得られるよう、生徒が主体的に行動する場面を設け、支援していきたいと思えます。	生徒	93.7	87.6
	保護者	90.6	90.6
10. 健康面に心がけた生活 健康面では、「早寝・早起き・朝ご飯」など、生活リズムの確立が大切です。特に、朝食を取らずに登校することのないよう、各ご家庭での配慮をよろしくお願いします。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、マスク着用、手洗い・うがい、手指消毒、検温、3密を避ける等の「新しい生活様式」に従い行動することも重要になっています。	生徒	77.2	83.5
	保護者	<u>76.6</u>	<u>78.2</u>
11. 交通ルールの遵守 今年度は、スケアード・ストレート教室（スタントマンの再現による自転車事故の疑似体験）を開催しました。大切なのは、『自分の命は自分で守る』です。《 <u>自転車安全利用五則</u> 》①自転車は、車道が原則、歩道は例外、②車道は左側を通行、③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行、④安全ルールを守る、二人乗り・並進の禁止、夜間はライトを点灯、交差点での信号遵守と一時停止・安全確認、⑤学校における活動以外でもヘルメットを着用》に従った行動を心掛けるよう、日々指導を行っています。	生徒	95.9	—
	保護者	95.6	—
12. 部活動や校外活動への積極的な参加 部活動は体力・能力の向上や忍耐力を養い、社会のルールを学ぶとともに、豊かな人間関係を育みます。先輩への憧れや後輩への思いやりが生まれる「ふれあい」を大切にしています。また、校外活動ではボランティアとして積極的に参加している生徒が多くみられます。	生徒	89.5	86.0
	保護者	89.7	85.9
13. 清掃・美化活動による環境づくり 「環境が人を育てる」といいます。本校では、『N・K・G』（日本一きれいな学校にしよう！）を合言葉に、そうじの時間を大切にするとともに、校舎内外の修繕や学級花壇づくりに励み、生徒に「愛校心」を育もうと努力しています。また、環境教育の一環として、『毎日が廃品回収！』を実施しています。更なるご支援をよろしくお願いします。	生徒	94.4	86.4
14. 楽しく・居心地の良い学校生活 本校では年2回、「楽しい学校生活を送るためのアンケート『Q-U』」を実施しています。各回のアンケート結果より得られた1人1人の生徒の学級満足度や学校生活意欲等を把握し、必要な対応策を検討します。複数の教師がチームを組み連携して対応することで、楽しく・居心地の良い学校を目指します。	生徒	94.1	85.7
	保護者	92.2	88.6